

個人投資家さま向け会社説明会

2026年2月25日



IR広報室長

宮崎 聡

Miyazaki Satoshi

長野県出身

Career Summary

- 2007年 信金中央金庫中途入庫、法人営業第1部
- 2011年 信用金庫出向
- 2012年 中国支店（広島県）配属
- 2015年 (株)地域経済活性化支援機構出向
- 2017年 中小企業支援部
- 2021年 人事部人材開発グループ
- 2023年 総合企画部IR広報室

1	信金中金/信用金庫の概要	4
2	信金中金の優先出資とは？	10
3	信金中金の戦略と取組み	23

1. 信金中金/信用金庫の概要



地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ

経営理念

-Philosophy-

信用金庫の中央金融機関として、
信用金庫業界の発展につとめ、
もってわが国経済社会の繁栄に貢献する。

1950年

信用金庫の出資により創立

2000年

信金中央金庫 (略称：信金中金) に名称変更
東京証券取引所に優先出資証券を上場

2025年

『SCBストラテジー2025』開始



(2025年12月末)

優先出資価格

200,200円

※2026年2月19日時点

1口当たり配当金

6,500円

※2025年度予想

配当利回り

3.25 %

総合利回り

4.25 %

※2026年2月19日時点。総合利回りは、1口当たり1,000円相当のオリジナルグッズ（9月末基準）および、1,000円分のQUOカード（3月末基準）の優待品を加味した利回り

拠点数 国内：14店舗
海外：5 拠点

常勤役員数
約1,300名

資金量

31兆円

貸出金額

10兆円

親会社株主に帰属

する四半期純利益 **343億円**

自己資本比率（連結）

23.10%

信金中金は、全国の信用金庫から預けていただいた預金を中心に国内外の金融市場における有価証券投資や事業会社などへの貸出により運用し、収益を計上しています。

信金中央金庫

信金中金の3つの機能

信用金庫からの
出資・預金
(余裕資金)

1. 機関投資家・コーポレートファイナンス機能

全国の信用金庫からの預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用

有価証券投資



貸出

金融市場

地方公共
団体等

事業会社

中小企業の販路拡大、個人の資産形成、地域創生やデジタル化に資する支援に加えて、信用金庫の資金運用・リスク管理等のサポートを実施

2. 持続可能な社会を実現する機能

中小企業、個人、地域社会の抱える課題に対して、信用金庫と連携し適切なソリューションを提供

信用金庫の
業務サポート



3. 信用金庫のセントラルバンク機能

信用金庫の収益力向上や健全性確保などに向けて経営をサポート

全国の
信用金庫

地域社会に
貢献

資金量ランキング

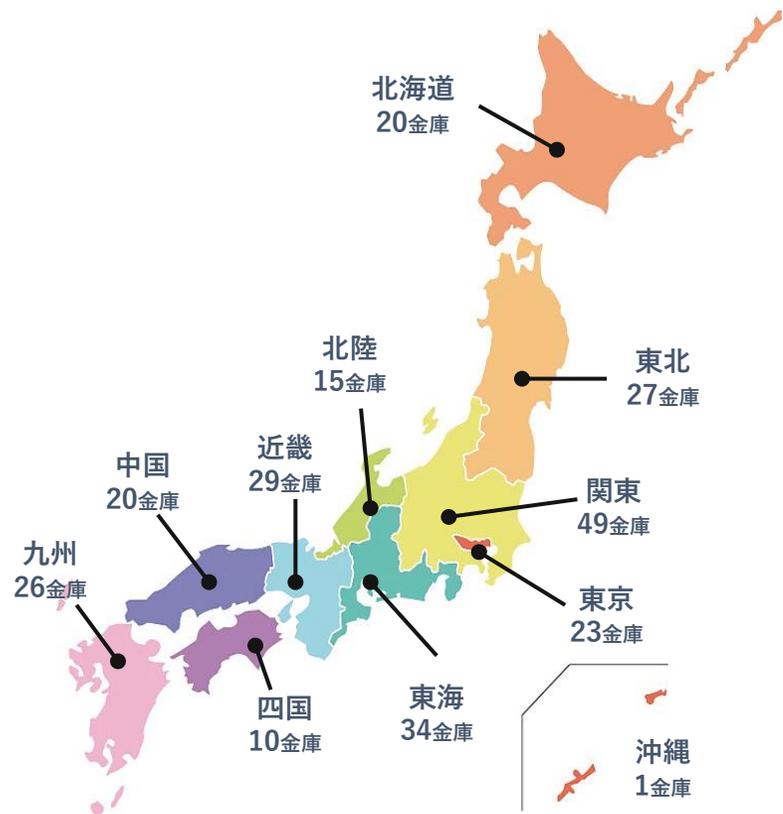
	金融機関名	資金量 (兆円)
1	三菱UFJ銀行	200
2	ゆうちょ銀行	188
3	三井住友銀行	157
4	みずほ銀行	154
5	三井住友信託銀行	96
6	三菱UFJ信託銀行	62
7	農林中央金庫	54
8	りそな銀行	50
9	みずほ信託銀行	33
10	信金中央金庫	32

	金融機関名	資金量 (兆円)
11	横浜銀行	18
12	埼玉りそな銀行	17
13	千葉銀行	16
14	福岡銀行	13
15	SBI新生銀行	13
16	楽天銀行	12
17	静岡銀行	12
18	住信SBIネット銀行	11
19	北洋銀行	10
20	常陽銀行	10

(注) 2025年9月末時点、資金量には海外店舗分を含む
(出所) 2025年12月12日付ニッキン

全国の信用金庫ネットワーク

(2025年9月末)



- **相互扶助**を基本理念とした中小企業・地域住民のための非営利金融機関
- 事業地区：一定の地区に限定、会員資格：個人・中小企業に限定、貸出：原則会員を対象にしており、**地域社会の繁栄**こそが信用金庫の使命
- 信用金庫は、「**地域の、地域による、地域のための金融機関**」と言える

～数字で見る信用金庫～

(2025年9月末)

預金量

163兆円

貸出金量

82兆円

拠点数

254金庫/7,061店舗

役職員数

9.9万人

2. 信金中金の優先出資とは？

優先出資証券とは

協同組織金融機関が自己資本の充実をはかるために、会員（信用金庫）からの普通出資のほかに、会員外からも出資を募るために発行する有価証券です。



一般の株式と同じように、証券会社を通じて売買することができます。

出資者

信金中金の優先出資

証券口座を開設している
個人・法人

議決権

なし

その他

- 普通出資よりも優先的に配当を受けられる権利を有する
- 1口から購入可能

1

安定した財務内容

2

配当・充実した優待制度

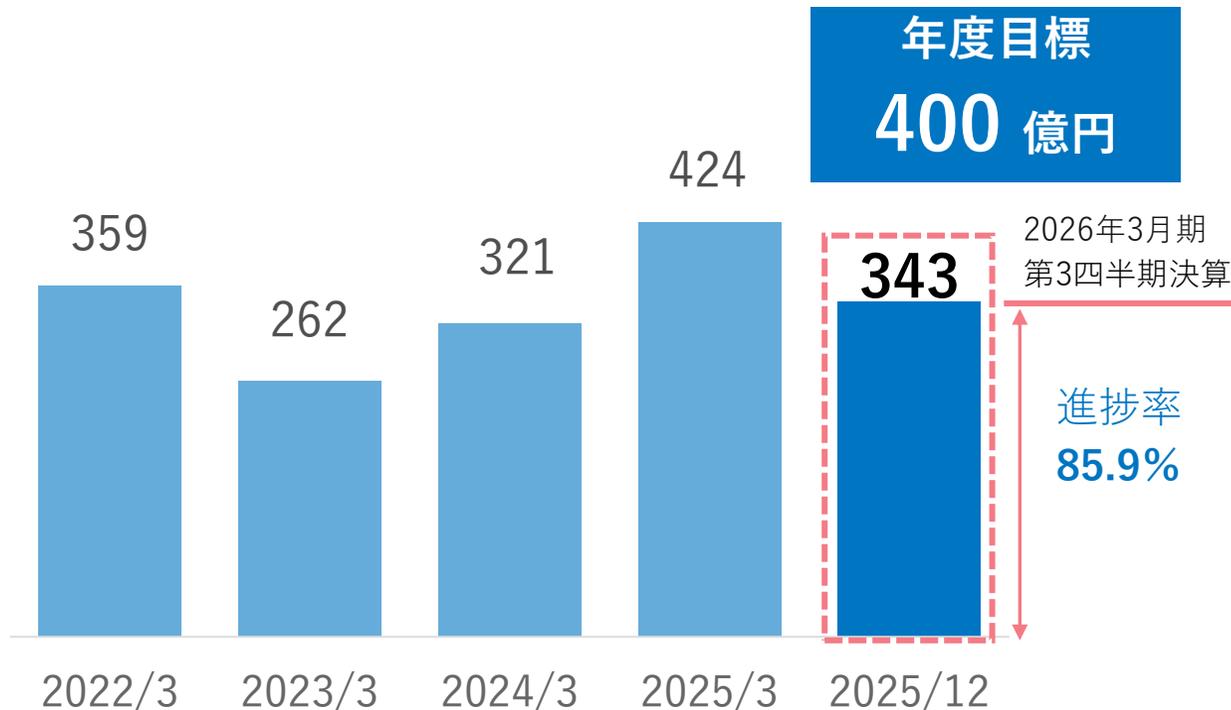


2025年10月に優待制度拡充を発表

ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 2026年3月期第3四半期決算における年度目標の進捗率は85.9%
- ◆ 自己資本比率は20%台を維持しており、引き続き堅固な財務基盤を維持

親会社株主に帰属する当期純利益



連結自己資本比率(国内基準)

参考：業態別比較(単体)
(2025年3月末)

- ・ 信金中金：24.01%
- ・ 都市銀行：15.50%
- ・ 地方銀行：10.28%

(注) 都市銀行は5行、地方銀行は国内基準行(52行)の平均
(出所) 各行決算資料、(一社) 全国地方銀行協会



◆ 経費率、不良債権比率ともに低水準で推移し、引き続き高い健全性を確保

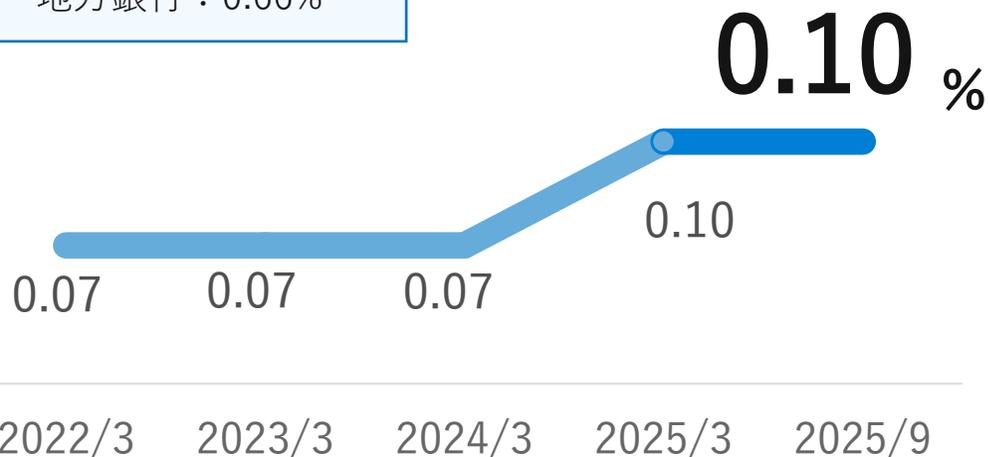
経費率 (単体)

参考：業態別比較(単体)
(2025年3月末)

- ・ 信金中金：0.10%
- ・ 都市銀行：0.48%
- ・ 地方銀行：0.66%

(注) 経費率 = 経費 / 預金等平残

(出所) (一社) 全国銀行協会 「全国銀行財務諸表分析」



不良債権比率(単体)

参考：業態別比較(単体)
(2025年3月末)

- ・ 信金中金：0.22%
- ・ 都市銀行：0.71%
- ・ 地方銀行：1.55%

(注) 不良債権比率 = 金融再生法開示債権 / 総与信残高

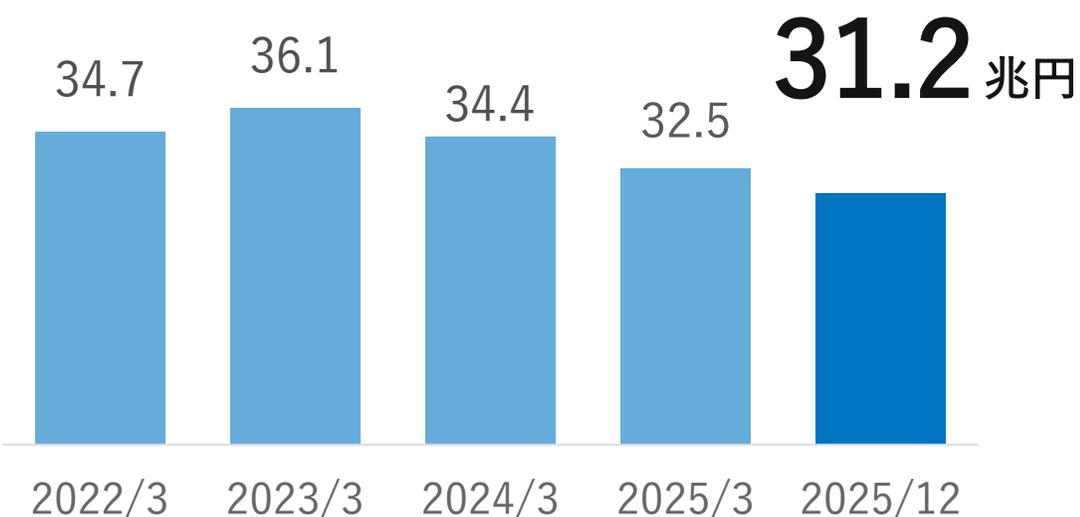
(出所) (一社) 全国銀行協会 「全国銀行財務諸表分析」



ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 信用金庫の預金を中心とした安定的な資金調達により、豊富な資金量を確保
- ◆ 高い安定性や健全性を背景に国内金融機関の中でもトップクラスの格付を獲得

資金量（単体）



格付の状況

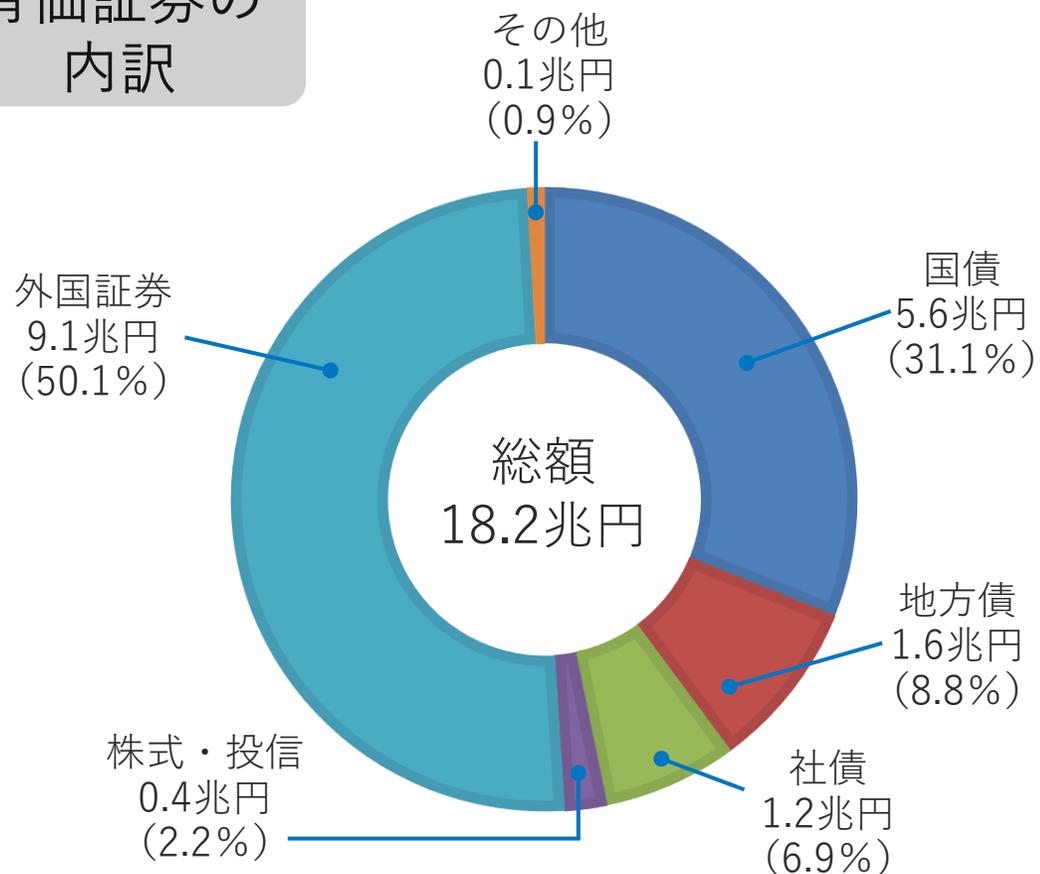
(2026年1月30日時点)

格付会社	長期	アウトルック	短期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	ポジティブ	—
日本格付研究所	AA	安定的	—

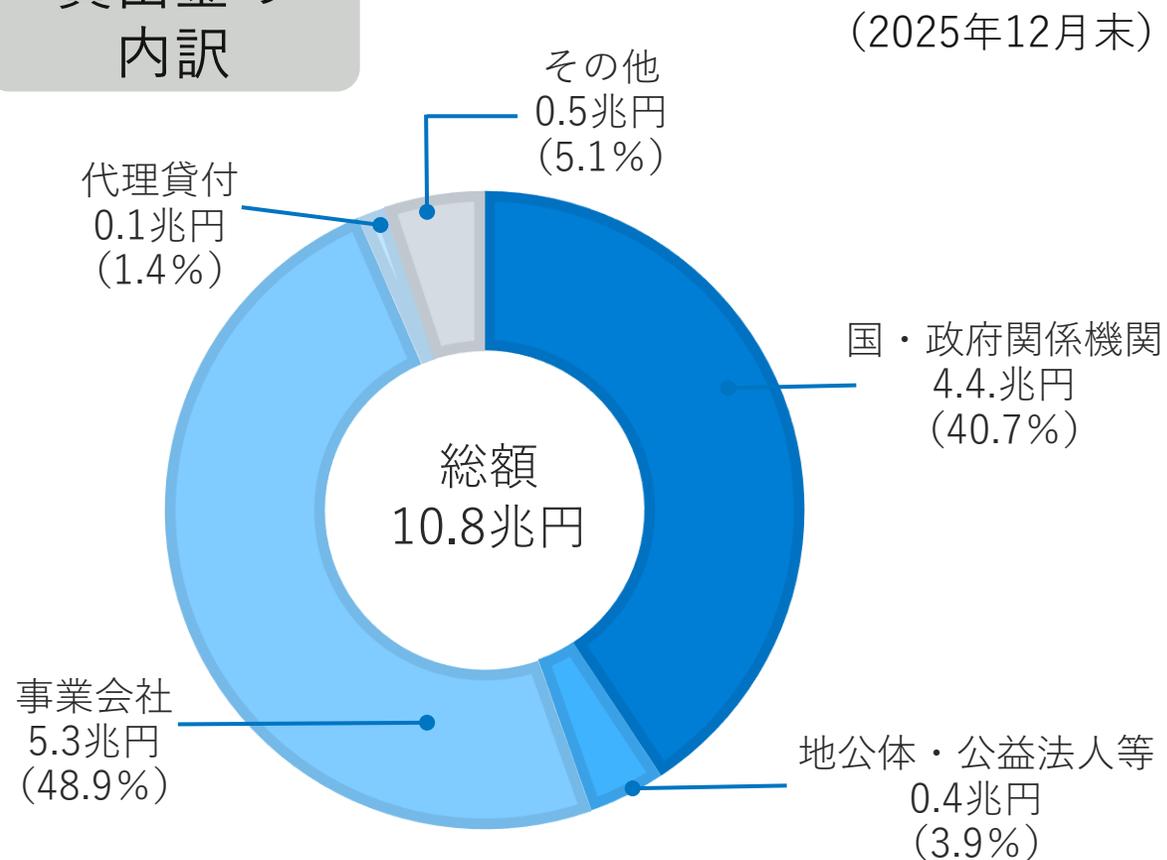
ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 有価証券運用の過半は、国債・地方債および政府保証債等を中心とした社債
- ◆ 貸出金は、上場企業を中心とした事業会社および国・政府関係機関が大半

有価証券の内訳



貸出金の内訳



◆ 年に1回、3月末を権利確定日として配当を実施

■ 配当実績・配当予想

2025年3月期 配当実績

1口当たり **6,500** 円

2026年3月期 配当予想

1口当たり **6,500** 円

■ 配当利回り

配当利回り※

3.25 %

総合利回り※

4.25 %

※2026年2月19日時点。総合利回りは、1口当たり1,000円相当のオリジナルグッズ（3月末基準）および、1,000円分のQUOカード（3月末基準）の優待品を加味した利回り

ポイント② 配当・充実した優待制度

- ◆ 2026年3月より優待制度を拡充し、3月末時点で継続保有期間1年以上※の優先出資者に対して、保有口数に応じた優待品（QUOカード）を贈呈
- ◆ 2026年3月31日現在の優先出資者名簿に記載または記録された優先出資者は、初回に限り保有期間にかかわらず贈呈の対象

拡充後の優待制度 ※表の網掛け箇所が拡充内容

保有口数	基準日	継続保有期間	優待品	贈呈時期
1口以上3口未満	9月末日	なし	1,000円相当のオリジナルグッズ	12月頃
	3月末日	1年以上	1,000円分のQUOカード	6月頃
3口以上10口未満	9月末日	なし	3,000円相当のグルメカタログ	12月頃
	3月末日	1年以上	3,000円分のQUOカード	6月頃
10口以上	9月末日	なし	6,000円相当のグルメカタログ	12月頃
	3月末日	1年以上	6,000円分のQUOカード	6月頃

※継続保有とは、毎年3月末日を基準日として、同一優先出資者番号で連続して優先出資者名簿に記載または記録されていることを指す。

- ◆ 保有口数に応じて、オリジナルグッズまたはグルメカタログを贈呈
- ◆ 全国の信用金庫取引先グルメで地域の中小企業を応援することが可能



優待商品に対する
優先出資者の満足度は、
80%を超えています 📣

- 1・2口 **1,000円相当の優先出資者限定オリジナルグッズ**
- 3～9口 **3,000円相当のグルメカタログから1つ選択**
- 10口以上 **6,000円相当のグルメカタログから1つ選択**

優先出資者限定オリジナルグッズ(1,000円相当)

まぼろしの味噌2種詰め合わせ 計1kg



グルメカタログ

3,000円相当のグルメカタログ 6,000円相当のグルメカタログ



熊本県産
くまさんの輝き 5kg



ふじのくに
豚しゃぶしゃぶセット



宇都宮餃子館
餃子食べ比べ 7種セット



グルメカタログ
(2025年度) はこちら▶



特別栽培米
奥能登産能登ひかり



味噌と粕の
漬け魚詰合せ



しんきん牛すき焼きセット



グルメカタログ
(2025年度) はこちら▶



- Q. 優先出資を購入するにはどうすればいいんですか？
Q. 配当金や優待品はいつ頃受け取ることができるのですか？



一般の株式と同じように、証券会社を通じて購入することができます。
証券コードは「**8421**」で、**1口から購入**することができます。
優先出資は、**NISA（少額投資非課税制度）における成長投資枠**の対象です。



- ◆ 配当金：**3月末**の優先出資口数に応じて、**年1回**配当を実施しています。例年6月下旬にお支払いしています。
- ◆ 優待品：①**3月末**：継続保有期間1年以上の優先出資者を対象に、保有口数に応じて、QUOカードを贈呈します。6月頃に送付予定です。
※2026年3月末の初回に限り、保有期間にかかわらず全ての優先出資者が対象となります。
- ②**9月末**：保有口数に応じてオリジナルグッズまたはグルメカタログをお届けします。例年12月初旬に送付しています。

3. 信金中金の戦略と取組み

中期経営計画『SCB戦略2025』の概要

2030年までに目指す姿

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する

私たちの目指す
“1つの金融グループ”

<目指す姿への共感・共鳴に向けたアプローチ>

私たちの想い

私たちの取り組む
社会課題

中期経営計画『SCB戦略2025』 <計画期間> 2025年度～2027年度



戦略1
信用金庫の経営基盤の強化



戦略2
地域の持続可能性の向上



戦略3
信金中金の成長



協同組織金融機関の特性を
踏まえたガバナンス改革

大切にする取組姿勢「トライ＆ラーンの実践」

中期経営計画の
詳細はこちら



コンセプトムービーは
こちら



財務目標および非財務目標（代表的なKPI）

（参考）2024年度実績

財務目標

中期的な目標収益水準	親会社株主に帰属する 当期純利益	424億円	450億円程度
（参考） 維持すべき経営指標	連結自己資本比率（国内基準）	23.40%	15%以上
	配当可能限度額	3,097億円	2,000億円以上

重要な社会課題 （グループマテリアリティ）

インパクト

地域産業の発展と日本の成長	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中小企業の稼ぐ力の強化 ◆ ファイナンスを通じた持続可能な社会への貢献
人口減少・少子高齢化社会のニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中小企業の後継者不足・人手不足への対応の強化 ◆ 個人の資産形成・承継の強化
環境問題への地域一体となった取組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域・中小企業の脱炭素化の促進 ◆ カーボンニュートラルへの貢献
信用金庫のセントラルバンクとしての金融安定化への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 信用金庫の経営基盤の強化 ◆ 信用金庫の業務継続態勢の強化 ◆ 信用金庫のDX化・業務効率化の促進
人財の活躍と成長	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 信用金庫職員向け育成機会の拡充 ◆ 活躍する人財の創出
働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆ エンゲージメントの向上
ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 経営の公正性・透明性の確保 ◆ グループ経営管理体制の強化

非財務目標(代表的なKPI)

- ▶ 中小企業の販路拡大支援件数
11,000件〔中計期間累計〕
- ▶ 個人の資産形成・承継にかかる商品・サービス利用者数
80万人〔2027年度末〕
- ▶ DX化・共同化による業界全体の業務時間削減効果
120万時間〔2027年度〕
- ▶ 信用金庫役職員の研修受講人数
80,000人〔中計期間累計〕
- ▶ エンゲージメント評価指数
2025年度比向上〔2027年度〕
- ▶ サステナブルファイナンス累計実行額
5兆円〔2021～2030年度〕
- ▶ 温室効果ガス排出量(Scope1,2)
ゼロ/カーボンニュートラル達成〔2030年度末〕

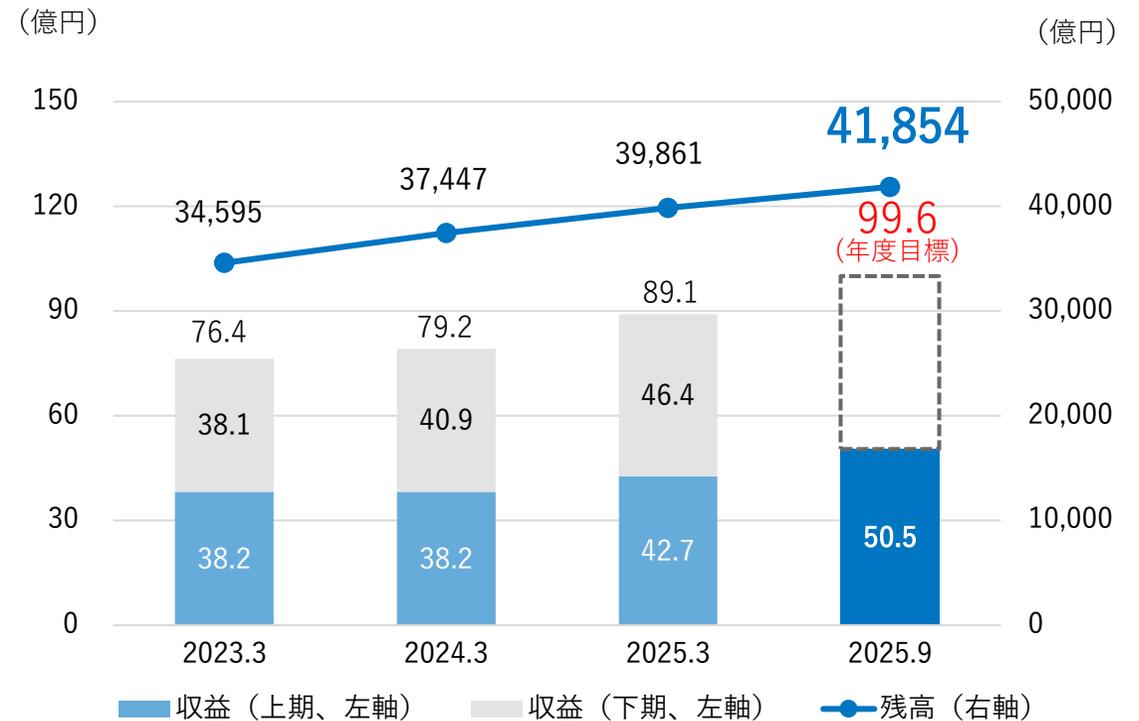
◆ 市場変動に左右されにくい収益・財務基盤の構築へ向け、コーポレートファイナンスにおいて各種収益力強化策を実施

貸出増強に向けた取組み

- 国内コーポレートファイナンス分野の顧客基盤の拡充
豊富な資金力を活かした大企業向け貸出の推進
 ▶▶ 新規取引先（2025年度上期**15**件）の獲得
- 既往先向け貸出案件（借換・追加）の収益改善
スプレッドの引上げ、変動金利貸出の推進
- 高収益案件の獲得、対応
M & A資金の調達等、企業の多様化する資金調達ニーズへ対応
- 法人営業機能の集約
全国の営業店が担当していた取引を法人部門※に集約化し、さらなる収益獲得に向けて貸出を推進

※法人4部門（法人営業第1部、法人営業第2部、大阪法人営業部、名古屋法人営業部）および法人営業推進部

法人4部門の収益・残高の状況



※収益は管理会計ベース

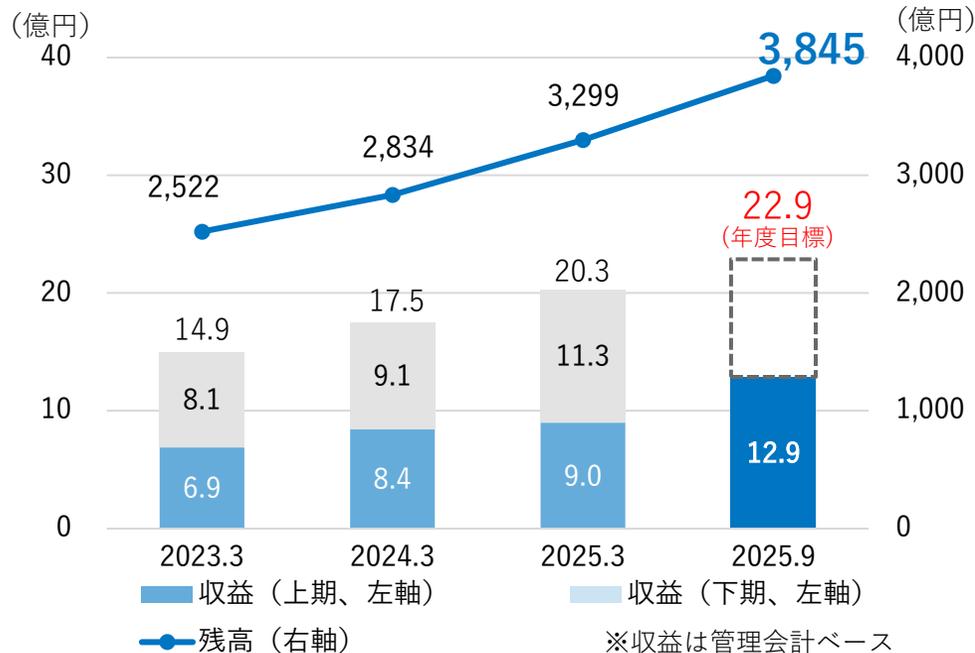
◆ プロジェクトファイナンス案件の拡充および新規領域における取組みを通じた収益獲得を強化するため、2025年4月に新部門を新設し、信金中金をアレンジャーとするプロジェクトファイナンスおよびPFI案件を組成

収益力強化に向けた取組み

- プロジェクトファイナンスにかかる専担部門として、プロジェクト金融部を設立

案件拡充および新規領域での取組みを通じて、収益獲得を促進

■ プロジェクト金融にかかる収益・残高の状況



PFI案件への取組み

- 地元信用金庫へのシンジケーションにより、信用金庫に融資機会を提供するとともに地域社会・経済の活性化にも寄与
- 信用金庫からの出向者受入（2025年度上期**1**名）を通じて、PFIのノウハウを提供

信用金庫および自治体等への周知活動も適宜実施

今年度の主な周知活動

- 信用金庫向け勉強会の実施（**4**件）
- 信用金庫取引先への訪問（**3**件）
- 自治体への同行訪問（**4**件）
- 自治体主催のセミナーへの登壇（**1**件）
- 地域PPP/PFIプラットフォームへの参加（**2**件）

➤ 累計実績：**149**金庫、**1,557**億円
2025年度上期実績：**2**件落札

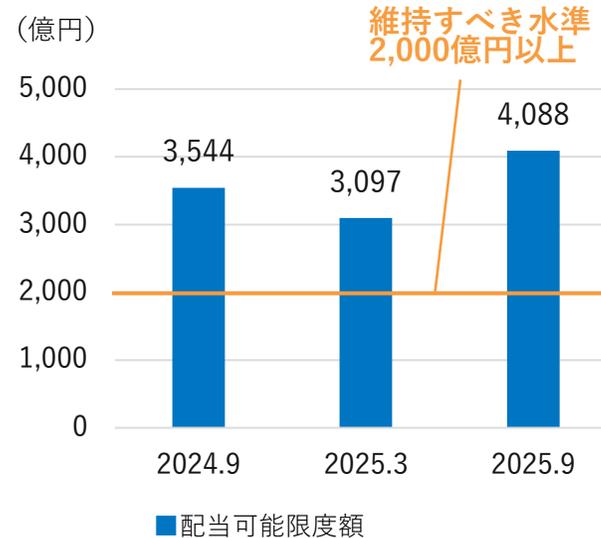
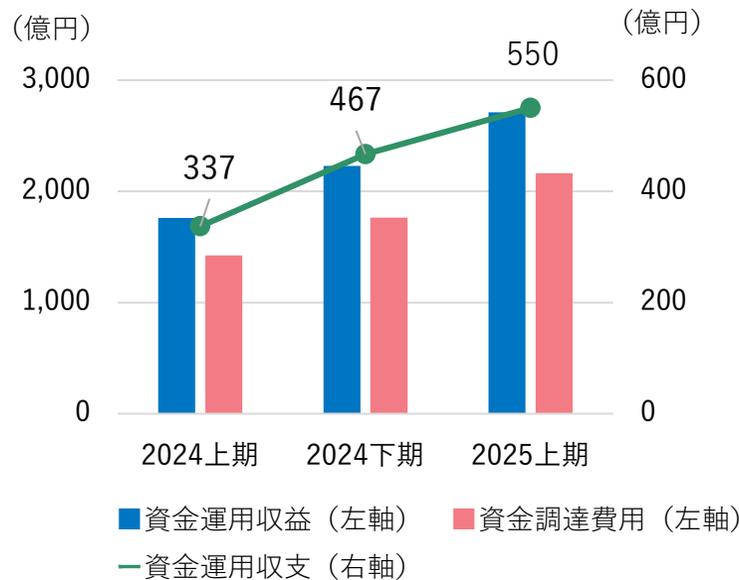
- ◆ 中長期的な収益力強化を目指した、投融資およびメンテナンスの実施
- ◆ 日銀金融政策の見通しやトランプ関税の影響等、市場環境の変化に応じたポートフォリオ運営の実施

財務基盤強化に向けた取組み

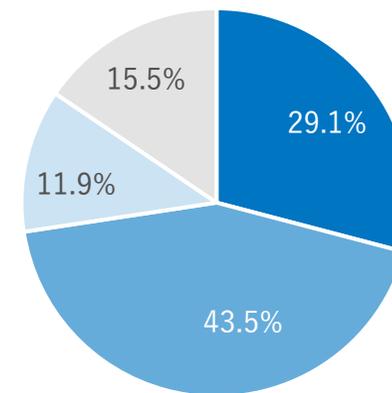
■ 「金利ある世界」に対応するポートフォリオマネジメント

- 日銀の利上げ蓋然性の高まりを踏まえた、資産戦略（アセットアロケーション）および負債戦略の見直し
- 市場見通しや評価損益等を考慮し、保有有価証券の積極的なメンテナンスを実施

■ 資金運用の状況



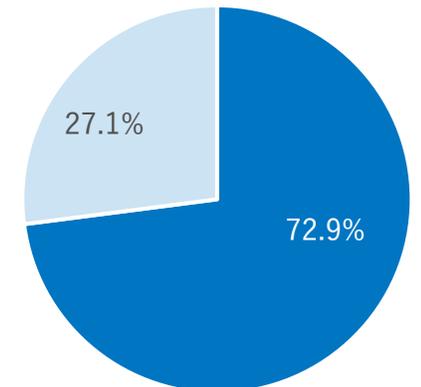
■ 金利別内訳



- 固定金利
- 変動金利
- 固定金利（ヘッジ付）
- ファンド等
- その他有価証券
- 満期保有目的債券

※2025年9月末時点

■ 保有目的別内訳

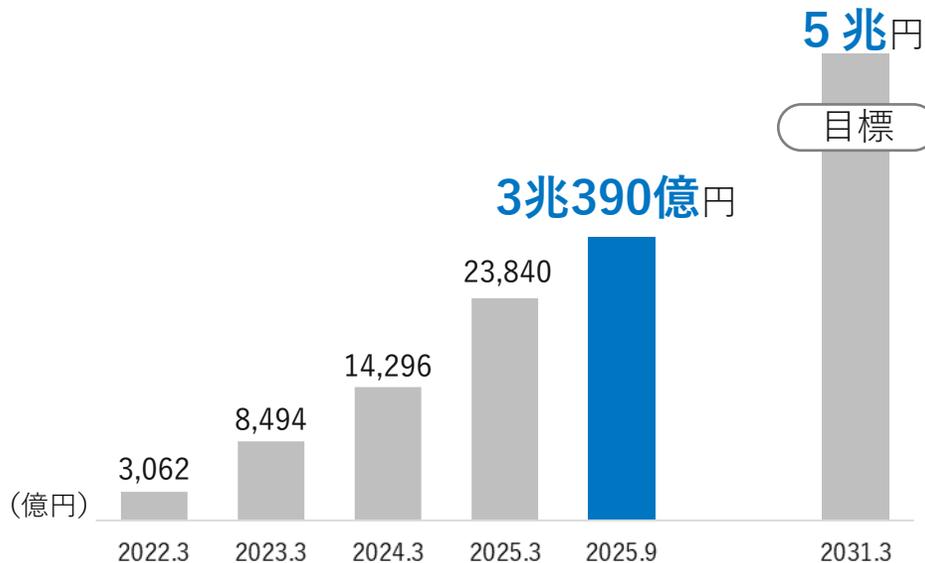


※2025年9月末時点

- ◆ サステナブルファイナンスの上期実績は約6,500億円、中長期目標額である累計5兆円に向けて、気候変動対応をはじめとした環境・社会課題の解決に資するファイナンスに一層注力してまいります。
- ◆ 2025年4月、(株)脱炭素化支援機構および信金キャピタル(株)と連携し、地域の脱炭素化事業を支援する「しんきん脱炭素応援ファンド」(総額20億円)を組成しました。9月末時点で6件の投資が決定しています。

サステナブルファイナンスの実績

- 2025年度上期実績は**6,549**億円



「しんきん脱炭素応援ファンド」の組成と進捗

■スキーム図



2025年9月末時点で
6件の投資が決定

事例：植物の自動栽培を目指すスタートアップへの投資

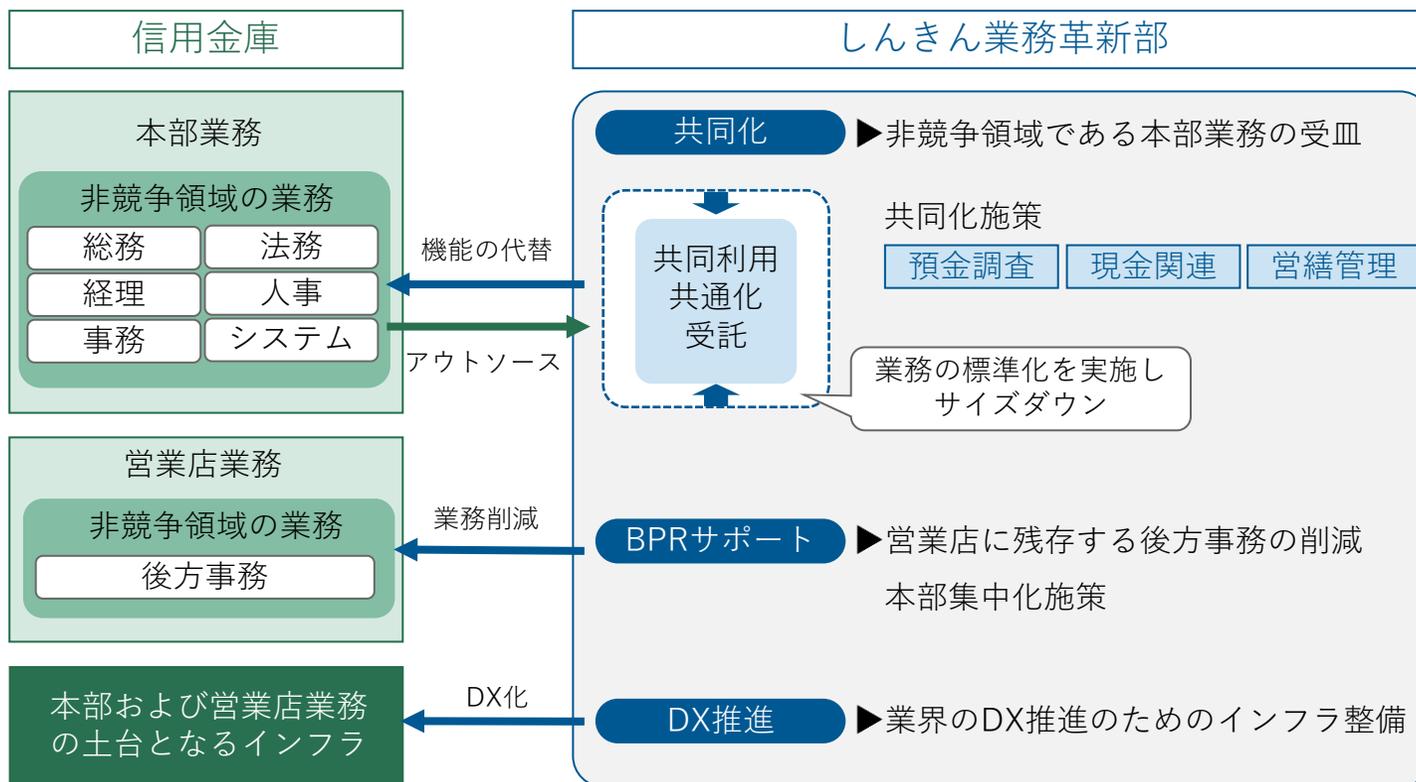
- 当ファンドの第一号投資案件として信用金庫の取引先で、東京大学発のスタートアップへの投資を決定
- 同社の目標は、植物工場における果菜類の完全自動栽培



信用金庫の生産性の高い業務運営基盤の構築

- ◆ 信用金庫の生産性向上に資する共同化・効率化施策の企画・推進を行う部門を新設
- ◆ 既存の共同化スキームは着実に利用金庫数が増加し、信用金庫業界の業務削減効果増大

しんきん業務革新部のミッションと活動の全体像



既存共同化スキームの実績 ※

2025年3月末 → 2025年9月末

預金調査

利用金庫

211金庫 → 220金庫

38.4万時間削減

現金関連

利用金庫

91金庫 → 106金庫

21.0万時間削減

営繕管理

利用金庫

8金庫 → 12金庫

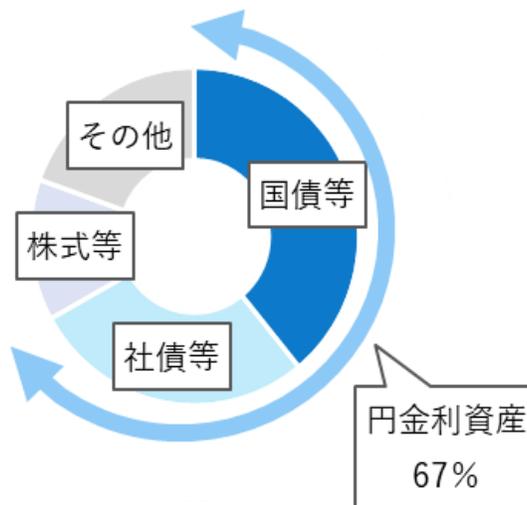
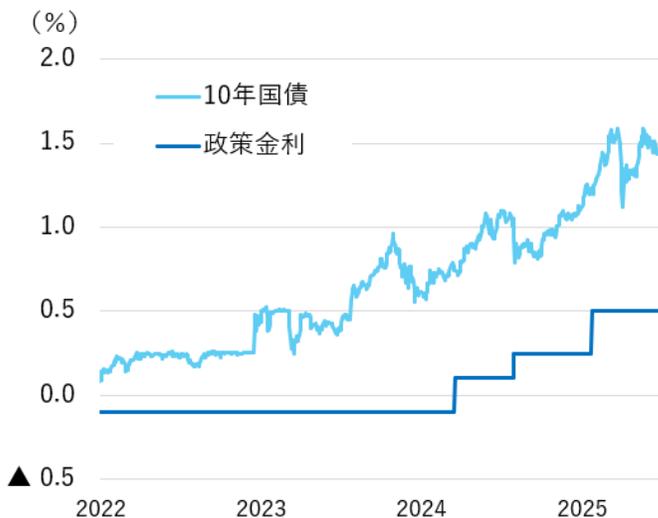
1.7万時間削減

◆ 金融政策正常化に向けた市場環境の変化に柔軟に対応できるよう、深度ある資金運用・リスク管理態勢強化サポートを実施

信用金庫を取り巻く市場環境

- 日本銀行の金融政策正常化を背景として預金・国債金利が上昇。信用金庫に求められる金利上昇局面に即した有価証券運用の高度化

■ 円金利の推移 (2022年以降) ■ 信用金庫保有有価証券種類別割合 (2025年3月)



資金運用コンサルティング

- 現状を分析し、運用計画の策定から収益・リスク管理態勢整備まで支援

累計実施 **20** 金庫
(2022年度開始～)

うち2025年度上期 **3** 金庫

有価証券ポートフォリオ分析

- 債券のメンテナンスやリスク管理態勢の実効性向上について、深度ある意見交換を実施

申込受領先 **231** 金庫
うちセンター関与先 **152** 金庫
〔2025年度上期実施先 **128** 金庫〕
うちセンター関与先 **64** 金庫

※センターは、今年度より新設のしんぎんコンサルティングセンターを指す。

研修やレポート発信等を通じた情報提供

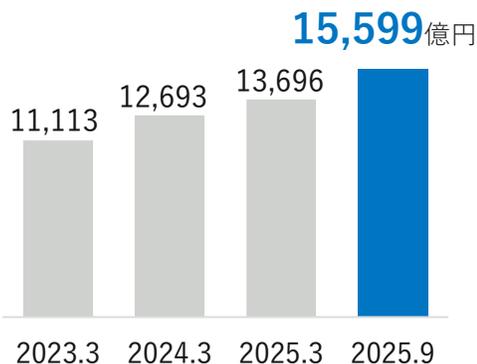
- 各種研修 (金利スワップの態勢整備等)
2025年度上期開催 **25** 件、延べ **180** 金庫参加
- 直近の市場動向やニーズを踏まえた迅速なレポート発信
テーマは、ALM運営や個別商品 (金利系仕組み債等)

2025年度上期発信件数 **8** 件

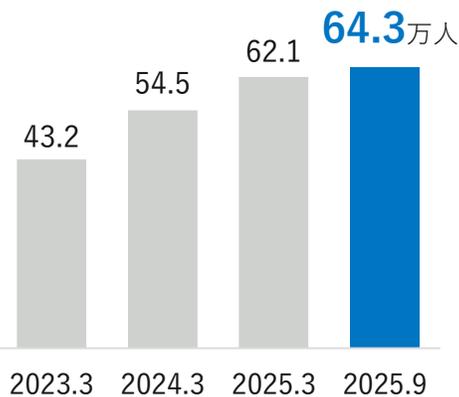
◆ 「しんきん預かり資産ナビ」の機能強化や相続手続き代行サービスを通じて、信用金庫の効果的・効率的な業務推進をサポート

投信窓販・NISA・しんきんiDeCo

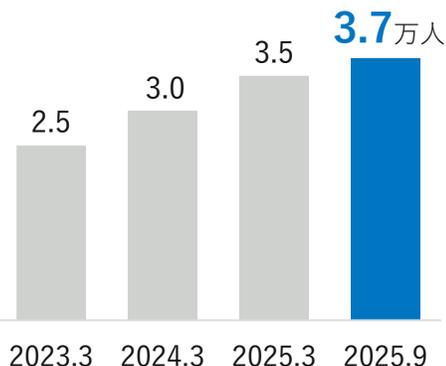
■投信残高



■NISA口座開設者数



■しんきんiDeCo加入者数



投信残高の状況

- 投信残高は2025年度上期に**1,903**億円増加
- 好調な市場環境もあり、投信残高は過去最高を更新
- 制度拡充が見込まれることもあり、NISA口座開設者数およびiDeCo加入者数が増加

「しんきん預かり資産ナビ」の機能強化

- 投信窓販業務における紙の使用を削減

これまでの機能強化(2024.10~)

今後の機能強化予定

- 電子サイン機能
- 顧客情報データ連携強化
- 電子保存機能（電帳法対応）

2026年以降
電子帳票作成機能

2025年度下期
NISA 口座開設情報連携機能

※ (株)しんきん情報システムセンターへのデータ連携機能に、NISA 口座の開設手続きを追加

➡ 利用金庫**64**金庫 2025年度上期 **3**金庫増加 **10.6**万時間削減

相続手続き代行サービス

- 専門家が相続手続きを代行し、顧客と信用金庫の負担を軽減、手数料収入も確保

➡ 取扱金庫**45**金庫 2025年度上期**27**金庫増加



- 本資料は、信金中金の事業内容および業績に関する情報の提供を目的としたものであり、信金中金の優先出資への投資を勧誘するものではありません。
- また、本資料は信金中金が信頼できると判断した情報に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。
- なお、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の信金中金の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

<お問い合わせ先>
信金中央金庫
総合企画部 IR広報室
電話：03（5202）7700
URL：<https://www.shinkin-central-bank.jp/>